



DHCP サブネットの設定

この章では、DHCP サーバにサブネットを追加する手順について説明します。サブネットを検索して DHCP サーバに追加する手順は、次のとおりです。

- 「[DHCP サブネットの設定値](#)」(P.10-1)
- 「[関連項目](#)」(P.10-3)

DHCP サブネットの設定値

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[システム (System)] > [DHCP サブネット (DHCP Subnet)] メニューパスを使用して、DHCP サブネットを設定します。

DHCP サブネットの設定のヒント

サーバ設定の変更を有効にするには、Cisco Unified Communications Manager を再起動します。Cisco CallManager サービスの再起動については、『*Cisco Unified Serviceability Administration Guide*』を参照してください。

DHCP サブネットの削除のヒント

サブネットが使用中でない場合、Cisco Unified Communications Manager でサブネットを削除できます。サブネットが使用中の場合は、メッセージが表示されます。

GUI の使用方法

Cisco Unified Communications Manager の管理の Graphical User Interface (GUI; グラフィカル ユーザーインターフェイス) を使用してレコードを検索、削除、設定、またはコピーする方法については、「[Cisco Unified Communications Manager の管理アプリケーションでの操作](#)」(P.1-13) およびそのサブセクションを参照してください。GUI の使用方法とボタンおよびアイコンの機能の詳細が説明されています。

設定値表

[DHCPサブネットの設定(DHCP Subnet Configuration)] ウィンドウで、サブネットを DHCP サーバに追加できます。表 10-1 では、DHCP サブネットの設定値について説明します。関連する手順については、「関連項目」(P.10-3) を参照してください。

表 10-1 DHCP サブネットの設定値

DHCP サブネット情報	説明
[DHCP サーバ(DHCP Server)]	DHCP サーバ名をドロップダウン リスト ボックスから選択します。
[サブネット IPv4 アドレス (Subnet IPv4 Address)]	サブネットの IPv4 アドレスを入力します。
[プライマリ開始 IPv4 アドレス (Primary Start IPv4 Address)]	割り当てる最初の IPv4 アドレス範囲の開始 IP アドレスを入力します。
[プライマリ終了 IPv4 アドレス (Primary End IPv4 Address)]	割り当てる最初の IPv4 アドレス範囲の終了 IP アドレスを入力します。
[セカンダリ開始 IPv4 アドレス (Secondary Start IPv4 Address)]	割り当てる 2 番目の IPv4 アドレス範囲の開始 IP アドレスを入力します。
[セカンダリ終了 IPv4 アドレス (Secondary End IPv4 Address)]	割り当てる 2 番目の IPv4 アドレス範囲の終了 IP アドレスを入力します。
[プライマリルータ IPv4 アドレス (Primary Router IPv4 Address)]	サブネットのプライマリ ルータの IPv4 アドレスを入力します。
[セカンダリルータ IPv4 アドレス (Secondary Router IPv4 Address)]	サブネットのセカンダリ ルータの IPv4 アドレスを入力します。
[IPv4 サブネットマスク (IPv4 Subnet Mask)]	サブネット マスクを入力します。
[ドメイン名 (Domain Name)]	このフィールドには、ドメイン ネーム システムを通じてホスト名を解決するとき使用する名前を指定します。
[プライマリ DNS IPv4 アドレス (Primary DNS IPv4 Address)]	このフィールドには、プライマリ DNS IPv4 サーバ名を指定します。
[セカンダリ DNS IPv4 アドレス (Secondary DNS IPv4 Address)]	このフィールドには、セカンダリ DNS IPv4 サーバ名を指定します。
[TFTP サーバ名 (TFTP Server Name、オプション 66)]	このフィールドは、TFTP サーバを指定するために使用します。このパラメータに設定できるのは、DNS 名またはドット付き 10 進 IP アドレス 1 つだけです。
[プライマリ TFTP サーバ IPv4 アドレス (Primary TFTP Server IPv4 Address、オプション 150)]	このフィールドには、プライマリ Trivial File Transfer Protocol (TFTP) サーバの IPv4 アドレスを指定します。
[セカンダリ TFTP サーバ IPv4 アドレス (Secondary TFTP Server IPv4 Address、オプション 150)]	このフィールドには、セカンダリ TFTP サーバの IPv4 アドレスを指定します。

表 10-1 DHCP サブネットの設定値 (続き)

DHCP サブネット情報	説明
[ブートストラップサーバ IPv4 アドレス(Bootstrap Server IPv4 Address)]	このフィールドには、ブートストラップ プロセスの次のステップで使用されるサーバのアドレスを指定します。このフィールドは、TFTP サーバの IPv4 アドレスとして使用することができます。また、次のブートストラップ サービスを DHCP サーバが提供する場合は、DHCP サーバアドレスのデフォルト値として使用することもできます。
[ARP キャッシュタイムアウト (ARP Cache Timeout、秒)]	このフィールドには、ARP キャッシュ エントリのタイムアウトを秒単位で指定します。期間を 32 ビットの符号なし整数で指定します。
[IP アドレスリースタイム (IP Address Lease Time、秒)]	DHCP サーバは、このフィールドにある情報を使用してオファアのリース期間を指定します。期間を秒単位の 32 ビット符号なし整数で指定します。
[リニューアル(T1)タイム (Renewal(T1) Time、秒)]	このフィールドには、アドレス割り当ての時点から、クライアントが RENEWING 状態に遷移するまでの時間間隔を指定します。
[再バインディング(T2)タイム (Rebinding(T2) Time、秒)]	このフィールドには、アドレス割り当ての時点から、クライアントが REBUILDING 状態に遷移するまでの時間間隔を指定します。値を秒単位の 32 ビット符号なし整数で指定します。

追加情報

「関連項目」(P.10-3) を参照してください。

関連項目

- 「DHCP サーバの設定」(P.9-1)
- 「DHCP サブネットの設定値」(P.10-1)
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「ダイナミック ホスト設定プロトコル (DHCP)」

